



😊はじめに

佐賀県では、県立学校において、平成23年度から「(先進的) ICT 利活用教育」を進めてきました。近年では、ICT 機器（パソコンやスマートフォン等の情報端末の総称）の発展は目覚ましく、様々な機器を様々な場面で活用する取組が全国的に行われており、特に今年度からは文部科学省の「GIGA（ギガ）スクール構想」の一環で、「1人1台」体制が各自治体で整えられてきています。これらを踏まえた、本校における ICT 活用について皆様にお伝えしていきたいと思います。

【GIGA スクール構想について】

GIGA スクール構想とは、「誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に個別最適化され創造性を育む教育 ICT 環境を実現する」ことを目的とした施策です。1人1台の情報端末、高速インターネット通信等を活用し、紙や鉛筆、黒板だけでは成し得なかった、デジタルの特長を生かした教育環境の実現が進められています。



黒板とチョークで教えていた一斉学習があります



今でもそれは大切な面もありますが



一人一人コンピュータやタブレットがあることで



いろんな生徒に対応した授業が実現できます

(YouTube)「学校における1人1台端末環境」公式プロモーション／文部科学省

ICTの活用により充実する学習の例

- ☑調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑情報モラル教育 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

(リーフレット) GIGA スクール構想の実現へ／文部科学省

【佐賀県での取組】

国の施策を受け、佐賀県では「PROJECT E」を中心に、学びの SAGAN アップデート」として、これまでの本県の ICT 利活用教育をさらに前進させ、1人1台端末での学びの「広がり」「深まり」「つながり」を目指しています。

【本校の取組目標】

さて、本校では、本県の目指す学びの「広がり」「深まり」「つながり」を踏まえた、1人1台端末の活用取組目標として、以下を設定しました。

目標 『1人1台端末を用いて、児童生徒の興味・関心や特性に応じた授業作りや支援を行う。』

取組内容の例

【広がる】

- ・ 学習内容への興味・関心が広がるよう、内容に関連した視聴覚教材を用いた授業を行う。
- ・ 表現の幅が広がるよう、プログラミングアプリやデジタル描画アプリを用いた授業を行う。
- ・ 表現の幅が広がるよう、コミュニケーション代替アプリやデジタル描画アプリを用いた授業を行う。

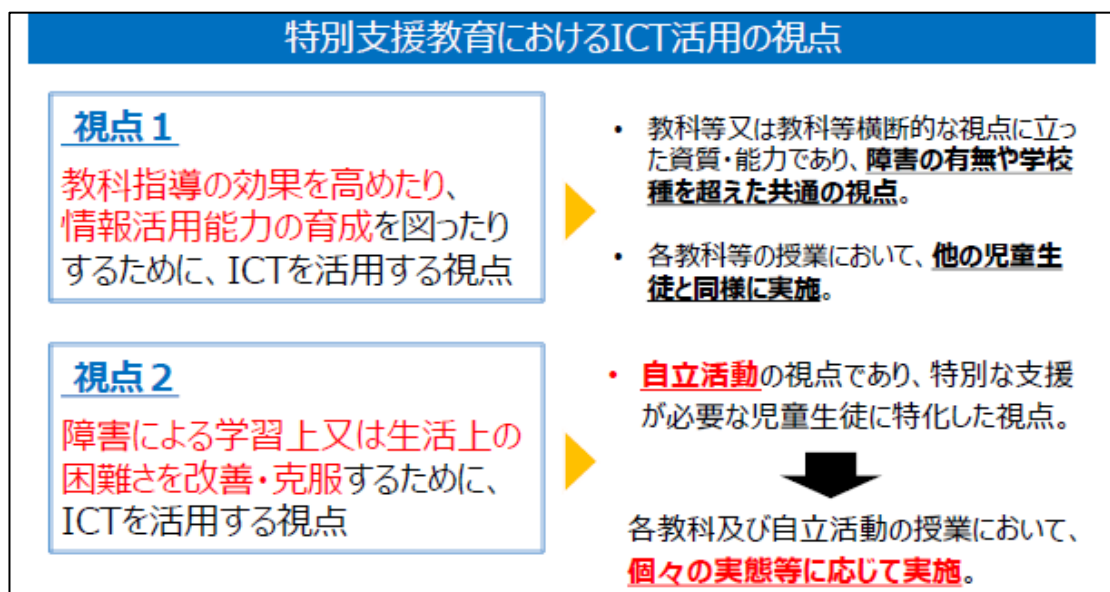
【深まる】

- ・ 思考が深まるよう、ロボットプログラミングを取り入れた授業を行う。
- ・ キー入力や音声入力を用いて、学習の振り返りをする授業を行う。

【つながる】

- ・ 体験したことをもとにプレゼンテーション資料を作成し、発表をととして教師や友達に伝える授業を行う。
- ・ 学校と家庭をオンラインでつなぎ、離れた場所からも参加できる授業を行う。
- ・ コミュニケーション代替アプリを用いて、自分の気持ちや要求を伝えられる授業を行う。

特別支援教育においては、教科指導の効果を高める他に、児童生徒の個々の特性に応じた支援機器（アシスティブテクノロジー）としての活用も重要になります。



（資料）○特別支援教育におけるICTの活用について／文部科学省

上の資料に示されるような2つの視点から目標を設定し、各学部や教育課程での学習内容、児童生徒に応じた活用を進めています。

（これまでの活用例）

